

2022年度 カリキュラム科目概要

科コード	科名	バッグデザイン科 1年	単 位	2単位
科目コード	科目名	バッグハンドワーク	授業期間	後期

担当教員(代表)：荒関 史伸	共同担当者：
----------------	--------

概要
<ul style="list-style-type: none"> ・手縫いの基本をマスターさせ、手縫いによる小物(財布、ペン立て等)ができるほどのレベルにもっていく。 ・手縫いの技法のいくつかを使用するビジネスバッグ製作のパターンまでができるほどのレベルにもっていく。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	手縫いの基本的な技法 (2コマ)	19	手縫い技法の復習(2コマ)
～	・道具の説明	～	・習った手縫い技法の実習による復習
2	・平縫い (糸の準備、菱目打ちの革への穴の開け方、縫い方など)	20	・装飾的手縫いの実習
3	全員同じパターンによる2つ折り財布の作製(8コマ)	21	手縫いの技法、装飾的な手縫いを使用したビジネスバッグ
～	・パターン作製 裁断、念引き、手縫いによる縫製、	～	製作(8コマ)
10	コバ磨き、仕上げ	28	・製装飾的な手縫いの例をいくつか紹介
			・デザイン画
			・ビジネスバッグ製作(和紙による立体作製、パターン作製)
11	菱切りの研ぎ方について (2コマ)		
～	・研ぎ実習		
12			
13	全員同じパターンによるペン立ての作製 (6コマ)		
～	・すくい縫いの説明、練習 裁断、縫製 仕上げ		
18			

評価方法	S～C・F評価 評価基準:学業評価50%、授業姿勢50%
------	------------------------------

主要教材図書	文化ファッション工芸講座③バッグ
参考図書	なし
その他資料	文化ファッション講座工芸②手芸

授業の特徴と担当教員紹介
実際にモノを作りながら技術を習得していきます。担当教員は文化服装学院卒、現役のバッグ職人です。

記載者氏名	荒関 史伸
-------	-------

2022年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード GH11	科名 バッグデザイン科1年	単位	2単位
科目コード 305010	科目名 ハンディクラフト	授業期間	通年

担当教員(代表) : 白戸 薫	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 各種のクラフトテクニックを、エンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。
 特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。
 併せて、学習したテクニックが使われている実際の商品などの資料を集め、ブックの形式で完成させる。
 それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

授業計画=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

*エンブroidアリー

- ・カラーエンブroidアリー 刺しゅうの中で、代表的な色系刺しゅうの基本的なステッチの実習(3)
- ・ステッチの応用 ボリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得(1)
- ・キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習(2)
- ・コードエンブroidアリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習(1)
- ・ピース/スパングルエンブroidアリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習(1)
- ・ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習(1)
- ・ピース/スパングルエンブroidアリーの応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作(1)

*布の加工

- ・アップリケ 布を切り貼りするテクニックの実習(1)
- ・ファンシーブリーツ 布を折りたたみ装飾を施すテクニックの実習(1)
- ・スモッキング ベーシックスモッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習(1)
- ・カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習(1)
- ・フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニピュレイティング(布加工)の代表的なテクニックの実習(1)
- ・ドロンワーク 糸抜きした部分にかがりを入れ、透かし模様を表現するテクニックの実習(2)
- ・リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習(1)
- ・ラティススモッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習(2)
- ・イタリアンスモッキングレリーフライクな布の表現のテクニックの実習(1)
- ・キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習(2)
 イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング

*レース

- ・マクラメ 紐やコードを手で結んで模様を表現するテクニックの実習(2)

*ブックの制作 学習した技法の総括として、資料と共に構成する(1)

評価方法・対象・比重
 制作物の評価にブックの採点をプラス

主要教材図書	文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸
参考図書	
その他資料	各種技法サンプル 講師作成プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに指導。クラフトテクニックをエンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎テクニックを幅広く習得する。帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に応用することをイメージしながら実習する授業を実施

記載者氏名 白戸 薫

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14402	科名	バッグデザイン科2年	単位	2単位
科目コード	600900	科目名	ファッションマーケティング	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：勝又 淳司	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・マーケティングの基本を学び、市場の細分化とその特徴を理解する。
- ・マーケティングのプロセスにそって、市場に適合したブランド設計を行い、目的を実現させるための戦略について学ぶ。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

<通年：26コマ>

1. オリエンテーション・PEST分析：世の中の流れを感じよう（講義・演習×1コマ）
2. ファッションビジネスの変遷・現況（講義・演習×1コマ）
3. ファッションビジネスの産業構造と職種（講義・演習×1コマ）
4. マーケティングとは（講義・演習×1コマ）
 - ・マーケットとは・マーケティングとは/企業の戦略
 - ・4Pと4Cの考え方
4. マーケティングのプロセス（講義・演習×3コマ）
 - ・STPマーケティングとは T:ターゲットとライフスタイル
 - ・ライフスタイルMAPを作成
 - ・プレゼン 発表
5. マーケティングリサーチ（講義・演習×2コマ）
 - ・リサーチの基本とヒアリングリサーチの実施
 - ・"お買い物リサーチ(購買行動)"と"愛用品"の動機調査
 - ・ヒアリングリサーチのまとめとプレゼン
6. ブランド(ショップ)リサーチ（実習・プレゼン×5コマ）
 - ・ブランドショップ/WEBサイト調査/企業の売上/ブランドのターゲット・中心アイテム
 - ・P:ポジショニングについて説明・実習
 - ・リサーチのまとめ
 - ・プレゼン 発表
8. ブランド設立 課題・企画書構成説明（講義・実習×1コマ）
 - ・PEST分析/マーケティングからのブランド設計
9. ブランド企画のステップ（講義・実習×2コマ）
 - ・目標の抽出
 - ・ブランドコンセプトとターゲット設定
10. 企画書作成（点検・実習×6コマ）
 - ・PEST分析：社会全体の状況 → ブランド概要の設定
 - ・ターゲットライフスタイル分析
 - ・ポジショニングマップの作成
 - ・メインアイテムとメインデザインの設定
 - ・チャンネル設定とプロモーション
 - ・計数計画：概要説明
11. プレゼンテーション（発表×2コマ）
12. フィードバック 総評 復習(1コマ)

【評価方法】

- ・S～C・F評価
- ・評価基準：出席20% 学業評価 60%、授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	配布プリント

授業の特徴と担当教員紹介

- ・マーケティングの基本を理解し、市場に適合したブランド設計を通して、目的の実現に向けた戦略を学ぶ。
- ・2006年 文化服装学院ビジネス専攻卒。東証一部上場の国内スポーツアパレルメーカーにて、MD, 営業を中心に14年間勤務後、文化服学院の教員に。実務経験と理論の融合を目指します。

記載者氏名 勝又 淳司